



JAPAN HIGH  
PERFORMANCE  
SPORT CENTER

## ハイパフォーマンススポーツセンターネットワークの構築 連携機関 公募説明会

---

令和3年8月18日（水）

独立行政法人 日本スポーツ振興センター

ハイパフォーマンススポーツセンター

ハイパフォーマンススポーツセンターネットワークの構築

**JAPAN SPORT**  
COUNCIL

# 事業概要説明

---

# ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）の歩み



スポーツ医・科学  
研究事業

スポーツ医・科学  
支援事業

スポーツ診療事業

ハイパフォーマンス  
サポート事業  
(旧 マルチサポート事業)

ハイパフォーマンス  
スポーツセンターの  
基盤整備

女性アスリートの  
育成・支援

競技力強化のための  
連携・協働

次世代  
トップアスリートの  
育成・強化



(1) JISSとは、「国立スポーツ科学センター」を指す。  
 (2) NTCとは、「味の素ナショナルトレーニングセンター 屋内トレーニングセンター・ウエスト」を指す。  
 (3) HPSCとは、「ハイパフォーマンススポーツセンター」を指す。  
 (4) NTC・イーストとは、「味の素ナショナルトレーニングセンター 屋内トレーニングセンター・イースト」を指す。

独立行政法人日本スポーツ振興センターHPより

# NTC競技別強化拠点指定施設一覽

## NTC競技別強化拠点指定施設一覽



※令和3年度7月  
スポーツ庁提供資料

### 冬季競技

- ① スキー (ジャンプ)  
札幌市ジャンプ競技場 (大倉山、富の森)
- ② バイアスロン  
西岡バイアスロン競技場
- ③ アイスホッケー  
苫小牧白鳥アリーナ
- ④ スピードスケート  
帯広の森屋内スピードスケート場「明治北海道十勝オーナリ」
- ⑤ スキー (ノルディック複合)  
白馬ジャンプ競技場  
白馬クロスカントリー競技場
- ⑥ ボブスレー・リュージュ  
長野市ボブスレー・リュージュパーク「スパイラル」
- ⑦ スピードスケート  
長野市オリンピック記念 帝産アイススケートアリーナ「エムウエーブ」
- ⑧ ショートトラック  
軽井沢風越公園カーリング トレーニングセンター
- ⑨ カーリング  
軽井沢風越公園カーリング ホール「軽井沢アイスパーク」
- ⑩ フィギュアスケート  
関空アイスアリーナ
- ⑪ パラバイアスロン  
田山射撃場
- ⑫ パラアイスホッケー  
やまびこスケートの森 アイスアリーナ
- ⑬ スキー (フリースタイル/ハーフパイプ)  
(スノーボード/ハーフパイプ)  
青森スプリング・スキーリゾート
- ⑭ スキー (フリースタイル/スロープスタイル・ビッグエア)  
(スノーボード/スロープスタイル・ビッグエア)  
東北クエスト
- ⑮ スキー (アルペン)  
(スノーボード/パラレル大回転)  
パラ・アルペンスキー  
菅平高原  
パインピークススキー場

### 屋外系競技

- ① サッカー  
堺市立サッカー・ナショナル トレーニングセンター
- ② ホッケー  
川崎重工ホッケー スタジアム
- ③ 馬術  
御殿場市馬術・スポーツセンター
- ④ クレー射撃  
川崎川県立 伊勢原射撃場
- ⑤ 7人制ラグビー  
熊谷スポーツ文化公園
- ⑥ ゴルフ  
フェニックス・シーガイア・リゾート
- ⑦ 近代五種  
日本体育大学 世田谷キャンパス
- ⑧ ボーダーホッケー  
川崎マリエンピーチパレーコート
- ⑨ 自転車競技  
日本サイクルスポーツセンター
- ⑩ トライアスロン  
フェニックス・シーガイア・リゾート及び周辺エリア
- ⑪ パラ陸上競技  
田辺スポーツパーク (南紀田辺スポーツセンター)
- ⑫ 車いすテニス  
いいづかスポーツ・リゾート (旧筑豊ハイツ)
- ⑬ パラ5人制サッカー  
MARUI プラサカ! パーク

### 海洋・水辺系競技

- ① セーリング  
和歌山マリナー・ディンギーマリナー
- ② ボート  
戸田公園漕艇場及び 国立戸田艇庫
- ③ カヌー (スラローム)  
富山市スポーツ・カヌーセンター
- ④ カヌー (スプリント)  
パラ・カヌー 木場湯カヌー競技場

### 屋内系競技

- ① 車いすバスケットボール  
千葉ポートアリーナ
- ② ボッチャ  
大阪市舞洲障がい者スポーツセンター
- ③ パワーリフティング  
京都府立心身障害者福祉センター体育館
- ④ シットイングバレーボール  
姫路市立書写養護学校屋内運動場
- ⑤ ゴールボール  
所沢市民体育館
- ⑥ 車いすフェンシング  
元京都市山王小学校
- ⑦ テコンドー  
羽島市防災ステーション

### 高地トレーニング

- ① 高地トレーニング  
飛騨御嶽高原高地 トレーニングエリア
- ② 高地トレーニング  
蔵王坊平アスリート ヴィレッジ



(R3.4.1.現在)

冬季競技	15施設	海洋・水辺系競技	4施設
屋外系競技	13施設	高地トレーニング	2施設
屋内系競技	7施設		
		計	41施設

# HPSCに練習拠点がない競技に対しても高品質な医・科学支援が必要

- 場所にとらわれない支援体制の構築
- 地域の大学や医・科学センター、競技別強化拠点等との連携（地域を練習拠点とするアスリートへの対応）
- トップアスリートだけでなく育成の段階も含めた包括的な支援体制の確立

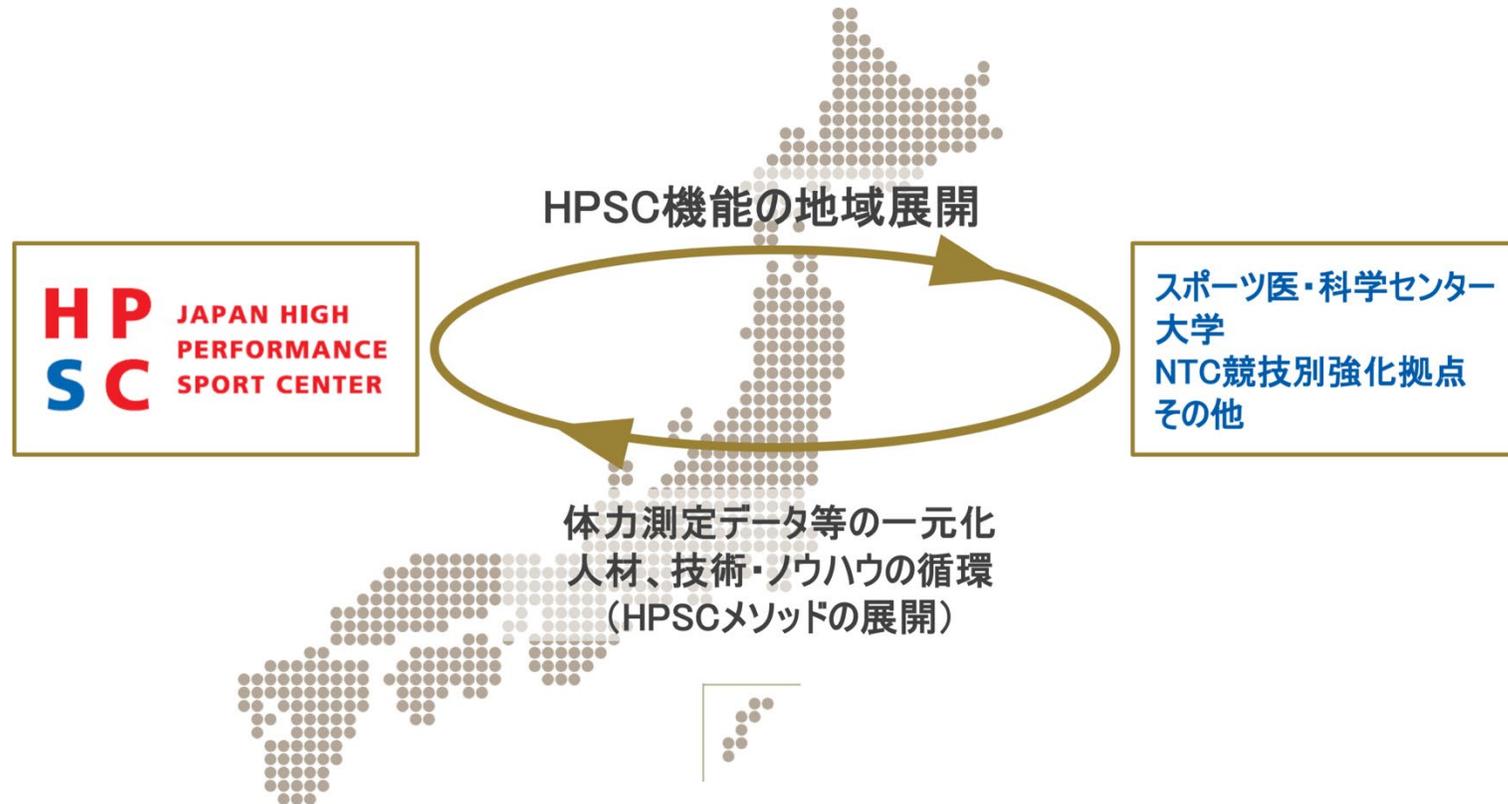
地域機関でHPSCと同等の支援を受けられるようにする  
HPSCと地域機関とが連携し、医・科学支援を推進

「相対的にみた中核拠点及び全体システム」においては、各拠点を「一体のネットワーク」として捉えた新たな「NTC システム」の上で、「ハード、ソフト・ヒューマン」各機能のデザインを行うこと、また「ビジネス・コオペレーション(事業協力関係の構築)」を担うプロフェッショナル人材の発掘・育成・登用・配置が肝要である。その運用においては、情報テクノロジーの活用が不可欠と言える。

平成27年度スポーツ庁委託事業「トップアスリートの強化・研究活動拠点の在り方に関する調査研究 報告書」

# 「ハイパフォーマンススポーツセンターネットワークの構築」事業

「ハイパフォーマンススポーツセンターネットワークの構築」事業（以下「HPSCネットワーク構築事業」）は、競技団体が実施する**競技者の発掘・育成・強化活動を、競技団体が必要とする場所、タイミングで包括的に支援**するため、国内にある地域の医・科学センター、大学、競技別強化拠点等の**ネットワーク化とこれを推進するスタッフの育成**を目指します。



# 「HPSCネットワーク」について

## 目的

以下の実施を通じて我が国の**国際競技力向上**に寄与することを目的に「HPSCネットワーク」を設置（令和3年3月）

- 地域のスポーツ医・科学センター、大学等の機関と連携したNF等が実施するアスリートの発掘・育成・強化活動に対する包括的な支援
- アスリート支援に資するスポーツ医・科学・情報に関する研究及びこれらを推進するスポーツ医・科学・情報分野等の人材育成機能の強化

## 構成

### 機関



- HPSC
- **連携機関**
- NF
- その他

### 個人



- HPSC職員
- HPSCパッケージ・コンテンツ提供者
- 協力者
- HPSC OB/OG

協働/  
実施

## 活動

- (1)地域におけるトレーニング拠点でもアスリート等に対し、**スポーツ医・科学・情報サポート及び高度な科学的トレーニング環境の提供**ができる体制の構築
- (2)HPSCと同等の**スポーツ医・科学・情報サポート**をアスリート等に対し一貫して**地域で提供**するための具体的方法（測定方法、データ解釈、JSCによる体力測定データの一元管理等）の**整理及び実施**
- (3)**地域で活動するアスリート等**に対しHPSCと同等の**スポーツ医・科学・情報サポート**を**実践できる人材の育成**及び当該人材情報の**発信**
- (4)HPSCパッケージにおける**コンテンツの展開**及び**コンテンツの提供**を通じた**アスリート支援の実施**
- (5)地域と連携した**高度なスポーツ医・科学・情報に関する研究**の実施
- (6)その他HPSCネットワークの**目的を達成**するために必要な活動

# HPSCパッケージ制度の概念図

HPSCのスポーツ医・科学支援の一環として実施実績のあるプログラム（コンテンツ）を用いたアスリート支援

## HPSCパッケージを用いたアスリートの支援

【パッケージの開発・運用】



【コンテンツの実施主体】

HPSCが定める要件を満たす者  
(機関 又は 個人)



コンテンツの提供  
・利用許諾

コンテンツ・支援の  
実施に関する  
フィードバック※

コンテンツを用いた  
支援の実施

フィットネスチェック、  
映像サポート 等

支援の  
実施に関する  
フィードバック※



ネットワーク・データベース (NWDB)  
を通じて公開

※ 「フィードバック」とは、コンテンツの使用・支援の実施に関する報告等を指す。

# HPSCネットワーク連携機関とは

HPSCネットワーク連携機関とは、HPSCネットワークの趣旨に賛同し、HPSCと連携のもと地域におけるスポーツ医・科学・情報サポート又はスポーツ医・科学・情報に関する研究ができる機関で、別途定める「HPSCネットワーク連携機関指定要件」を満たす機関としてJSC理事長から指定を受けている機関（設置要綱第4条）のことです。

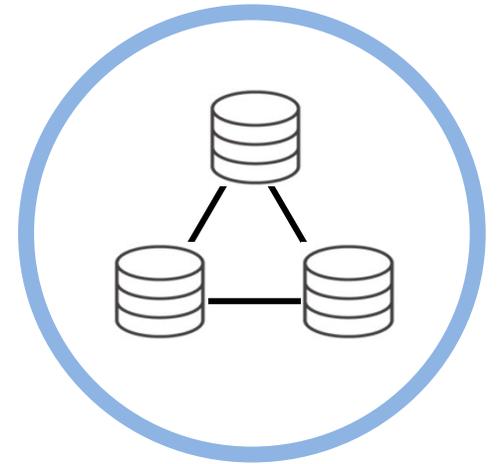
## 連携機関は



HPSCネットワーク  
構成員になる



コンテンツを用いた  
アスリート支援ができる



データの共有ができる

# 連携機関の種類

令和3年8月時点

種類	公募	説明
今回の公募対象 連携機関（体力測定） 	○	➤ HPSCが認める測定項目について、JSC又は競技団体からの依頼に基づき、HPSCが定める基準・方法により、アスリート等に対して体力測定を実施できる機関
連携機関（研究） 	—	➤ JSCとの連携により高度なスポーツ科学・医学・情報に関する研究が実施できる研究機関をいう。
連携機関（人事交流） 	—	➤ HPSCとの人事交流を通じてスポーツ科学・医学・情報分野等の人材育成を推進する機関をいう。

※JSCは、一つの機関を複数の種類の連携機関として指定することができる。

※JSCは、連携機関の種類を、統廃合し、分割し、新設し、又はその他の変更をする場合があります。

\* 本頁はあくまで概要を説明するものですので、正確な内容は「HPSCネットワーク連携機関指定要項（別紙一式を含む。）」をご確認ください。

## 手続き

- JSCは、連携機関（体力測定）に係る指定については、**公募を原則**とします。
- 設置要綱の趣旨に賛同して応募を行った機関については、JSCが設置する**HPSCネットワーク連携機関審査委員会**の**審査**を経た上で、JSC理事長において、適切と判断したものを連携機関として指定します。

## 指定要件

連携機関（体力測定）指定基準（後述します。）によります。

# 連携機関（研究・人事交流）について

## 手続き

連携機関（研究）及び連携機関（人事交流）については、公募によらず、JSCが適切と判断する場合に機関による申請を受け付けます。JSC理事長は、申請機関のうち、適切と判断したものを連携機関として指定します。

## 指定要件



研究

次の（ア）、（イ）又は（ウ）のいずれかの基準を満たすこと。

- （ア）JSCとの間で**共同研究に係る契約を締結し現にJSCと共同研究を実施していること。**
- （イ）JSCとの間で**スポーツ科学・医学・情報に関する研究の推進を含む連携協定を締結していること。**
- （ウ）JSCとの間で**過去に共同研究に係る契約を締結してJSCと共同研究を実施した実績があり、JSCが、高度なスポーツ科学・医学・情報に関する研究の実施に向けて連携機関（研究）に指定することが有益と認める機関であること。**



人事交流

次の（ア）、（イ）又は（ウ）のいずれかの基準を満たすこと。

- （ア）HPSCとの間で**現に人事交流（JSCとの間で締結した人事交流に係る覚書等に基づくものに限る。以下同じ。）を行っていること。**
- （イ）JSCとの間で**人事交流の実施を含む連携協定が締結されていること。**
- （ウ）JSCとの間で**人事交流を実施した実績があり、JSCが、スポーツ科学・医学・情報分野等の人材育成を推進できる機関であると認める機関であること。**

## 連携機関になることのメリット（JSC案）

- HPSCが開発した**科学的知見に基づくコンテンツ**をご利用いただけます。
- HPSCネットワークに加盟している**スポーツ関連施設**や**専門家**と連携できます。
- **アスリートを支援する機会が増える**とともに、**地域への貢献**が期待できます。
- HPSCとの連携による**ブランディング効果**が期待できます。
- **研究シーズの発見・共有**、及び**研究フィールドの開拓・拡大**が期待できます。

HPSC. 事業リーフレット (<https://hpsc-network.jpnsport.go.jp/file/123>) より

# 連携機関（体力測定）について

---

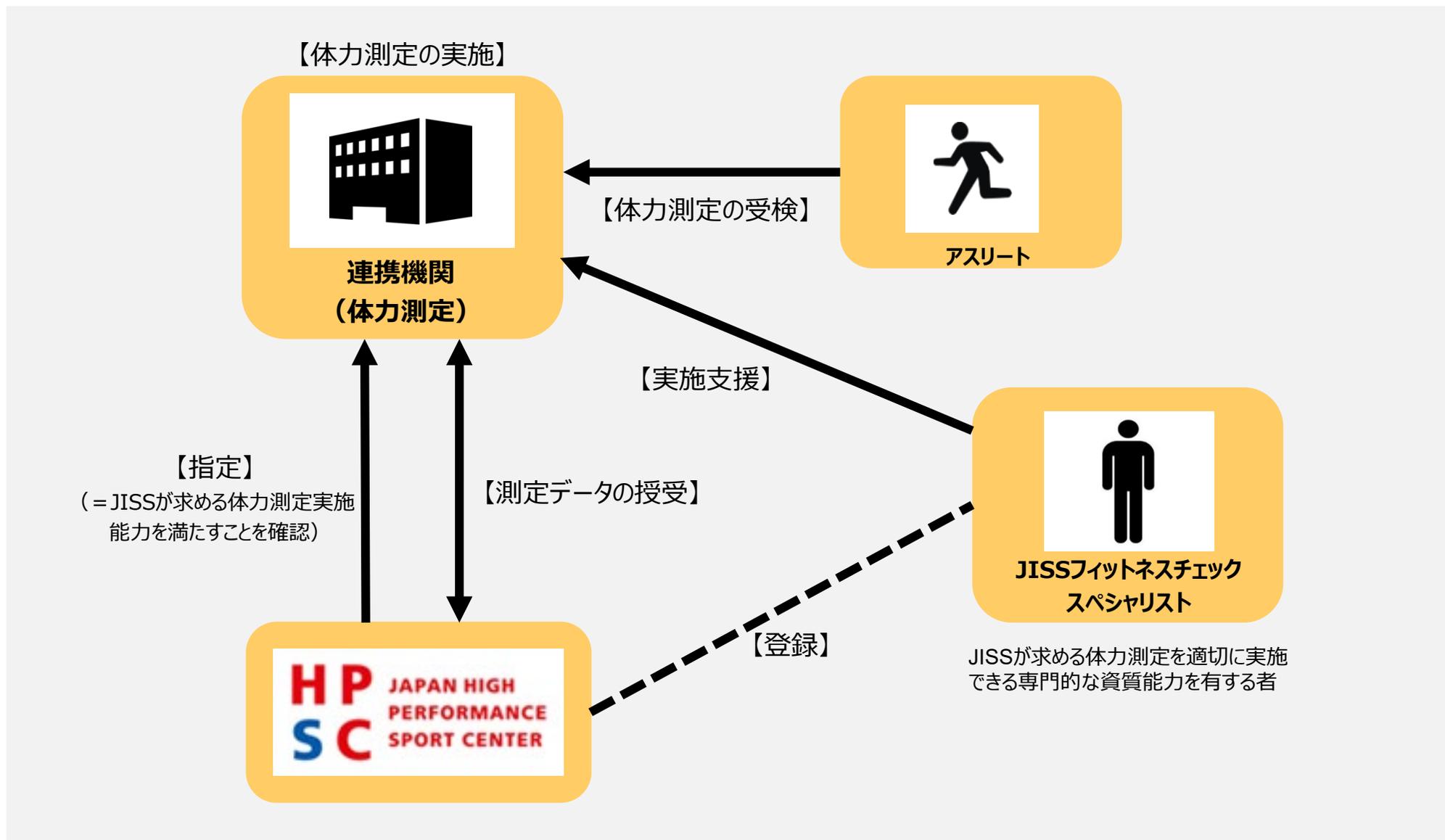
# 連携機関（体力測定）とは

JSC又は競技団体からの依頼に基づき、アスリート等に対しHPSCが認める測定項目についてHPSCが定める基準・方法により体力測定を実施できる機関のことです。



\* 本頁はあくまで概要を説明するものですので、正確な内容は「HPSCネットワーク連携機関指定要項（別紙一式を含む。）」をご確認ください。

# 地域におけるHPSCと一貫した体力測定の実施（イメージ）

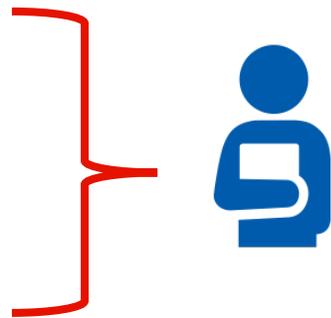


# フィットネスチェックとJISSフィットネスチェックスペシャリストについて

## フィットネスチェック (FC)

JISSで実施しているアスリートの形態計測・各種体力測定のこと。定期的に測定を行い、トレーニングの効果を確認し、国際競技力向上に資すること目的としている。JISSではこれらをパッケージ化し、FCと呼んでいる。

- **形態**
- **身体組成**
- **筋力**
- **有酸素性能力**
- 無酸素性能力
- 跳躍能力
- フィールドテスト



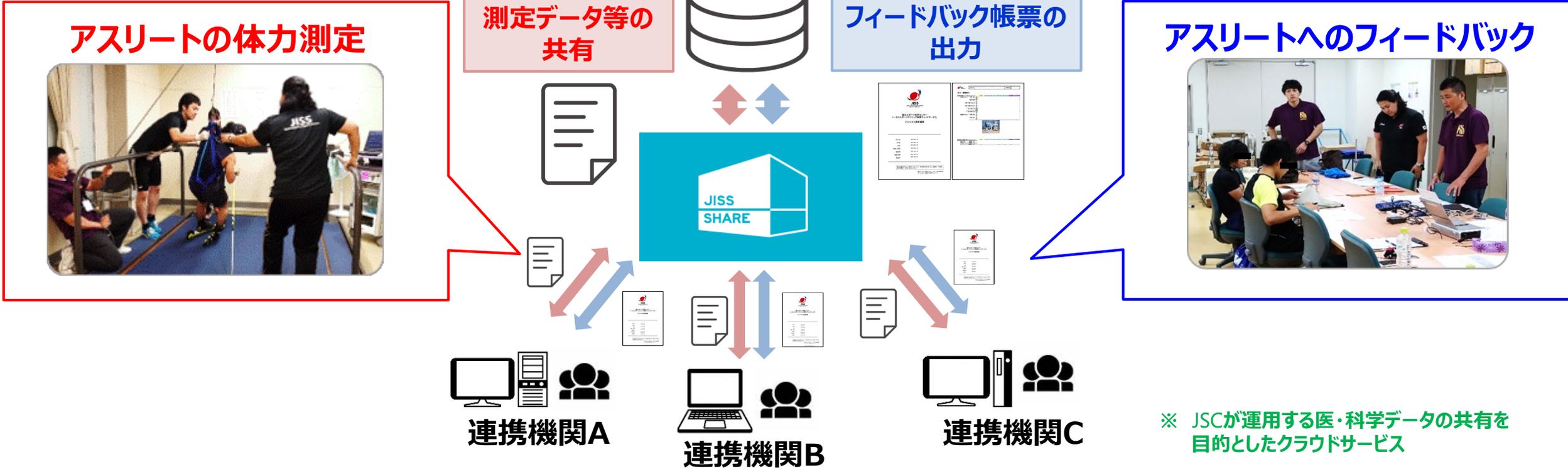
## JISSフィットネスチェック スペシャリスト (FCS)

JISSが実施する**体力測定**の理念、**体力測定の方法及びデータの取扱い方法等**を理解し、JISSが求める体力測定を適切に実施できる**専門的な資質能力を有する者**として、この要項に基づきJSC理事長が認定した者。

FCSは、**形態、身体組成、筋力、有酸素性能力**の4つの項目について、測定員として登録することが出来る。

# 連携機関とHPSC間におけるアスリートデータの共有について

## アスリートチェックシステム (ACS)



※ JSCが運用する医・科学データの共有を目的としたクラウドサービス

アスリートの医・科学支援に関するデータを、JISS share※を通じて相互に提供し、一元的に管理することによって、**地域においてもアスリートに対しHPSCと一貫した継続的な支援を全国的に実施する**

# 連携機関（体力測定）の指定要件：測定機器に関すること

申請機関が備える体力測定実施能力が次の①及び②を満たすこと

- ① 下表の「**A**」に適合する測定項目が1つ以上あること
- ② 以下のいずれかの要件を満たすこと。
  - ・ **①で適合する測定項目以外で**下表の「**A**」に適合する測定項目が1つ以上あること。
  - ・ **①で適合する測定項目以外で**下表の「**B**」に適合する測定項目が1つ以上あること。

No.	測定項目	測定項目の説明	体力測定実施能力	
			A	B
			HPSCと同等の体力測定能力を有すると認めることができる。	一定の条件が加わればHPSCと同等の体力測定能力を有すると認めることができる。
1	形態	体肢長・周径囲等	「Body Line Scanner 3次元人体計測システム」 (浜松ホトニクス社製) を用いた測定が実施できること	条件なし
2	身体組成	体脂肪率・ 除脂肪量等	以下2つのいずれかの機器を用いた測定が実施できること ①「BODPOD」(COSMED社製) ②「InBody」(InBody社製、型番770又は730)	以下2つのいずれかの機器を用いた測定が実施できること ①「業務用マルチ周波数体組成計」 (TANITA社製、型番MC-980A-N plus) ②「業務用マルチ周波数体組成計」 (MC-780MA-N (ポータティブ) )
3	筋力	等速性筋力	「Biodex」(Biodex社製) を用いた測定が実施できること	以下2つのいずれかの機器を用いた測定が実施できること ①「CON-TREX」(CMV社製、型番MJ) ②「CYBEX」(Lumex社製、型番Ⅱ又はⅢ)
4	有酸素性能力	酸素摂取量や 換気量等	「エアロモニタ」(ミナト医科学株式会社製) を用いた測定が実施できること	以下3つのいずれかの機器を用いた測定が実施できること ①「Vmax」(Sensor Medics社製) ②「携帯式 呼気ガス代謝モニター MetaMax」 (CORTEX社製) ③「ウェアラブル呼吸代謝計測システム K5」(COSMED社製)

その他要件を含め正確な内容は「HPSCネットワーク連携機関（体力測定）指定基準」をご確認ください。



## 「連携機関データベース」に登録されることにより想定されるメリット

- HPSCが運営するウェブサイトにおいて**連携機関であることを示す**ことができる
- HPSCが運営するウェブサイトにおいて**機関のPRができる**（備考欄の活用）
- ハイパフォーマンススポーツに興味関心のある閲覧者を**機関のウェブサイトに誘導**できる
- **HPSCとの連携項目**や**所在地**がわかり、**同じ地域の連携機関同士の連携等につながる可能性**がある
- 体力測定の実施場所を基に**測定実施機関を検索したいNFとの連携が容易**になる
- **JISSフィットネスチェックスペシャリストとの連携が容易**になる

# 公募手続き等について

---

# 連携機関（体力測定）の公募について

## 1. 公募趣旨

JSCは、地域のスポーツ医・科学センター、大学等の機関と連携し競技団体が実施するアスリートの発掘・育成・強化活動を包括的に支援すること（以下「アスリート支援」という。）、アスリート支援に資するスポーツ医・科学・情報に関する研究及びこれらを推進するスポーツ医・科学、情報分野等の人材育成機能を強化することにより、我が国の国際競技力向上に寄与することを目的に「HPSCネットワーク」を設置している。

この度、HPSC ネットワークの構成員として以下「2」に掲げる機関を対象に新規の「HPSC ネットワーク連携機関」（以下「連携機関」という。）の公募を行う。

## 2. 公募対象連携機関

次に掲げる種類の連携機関を公募する。

### ● 連携機関（体力測定）

## 連携機関（体力測定）の指定の機関要件

- 国立大学法人及び大学共同利用機関法人により運営される機関
- 私立大学により運営される機関
- 独立行政法人により運営される機関
- 公共法人（地方公共団体を含む。）により運営される機関
- 公益法人（特例民法法人を含む。）により運営される機関
- 地方公共団体が制定する条例等を根拠に設置されているスポーツ医・科学センター
- その他JSCが特別に認める機関

# 提出書類

- HPSCネットワーク連携機関（体力測定）公募申請書
  - ・ 様式1：公募申請書
  - ・ 様式2：実施能力詳細要件確認書
  - ・ 様式3：適合対象体力測定機器の設置場所
  - ・ 様式4：機器管理台帳
  - ・ 様式5：体力測定の実施体制・情報の管理体制について
  - ・ 様式6：体力測定情報の管理について（PC）
  - ・ 様式7：体力測定情報の管理について（データ保存場所）

指定要項（別紙一式を含む。）との適合関係を十分にご確認の上、ご記載・ご提出をお願いします。

- HPSCネットワーク連携機関（体力測定）指定申請書

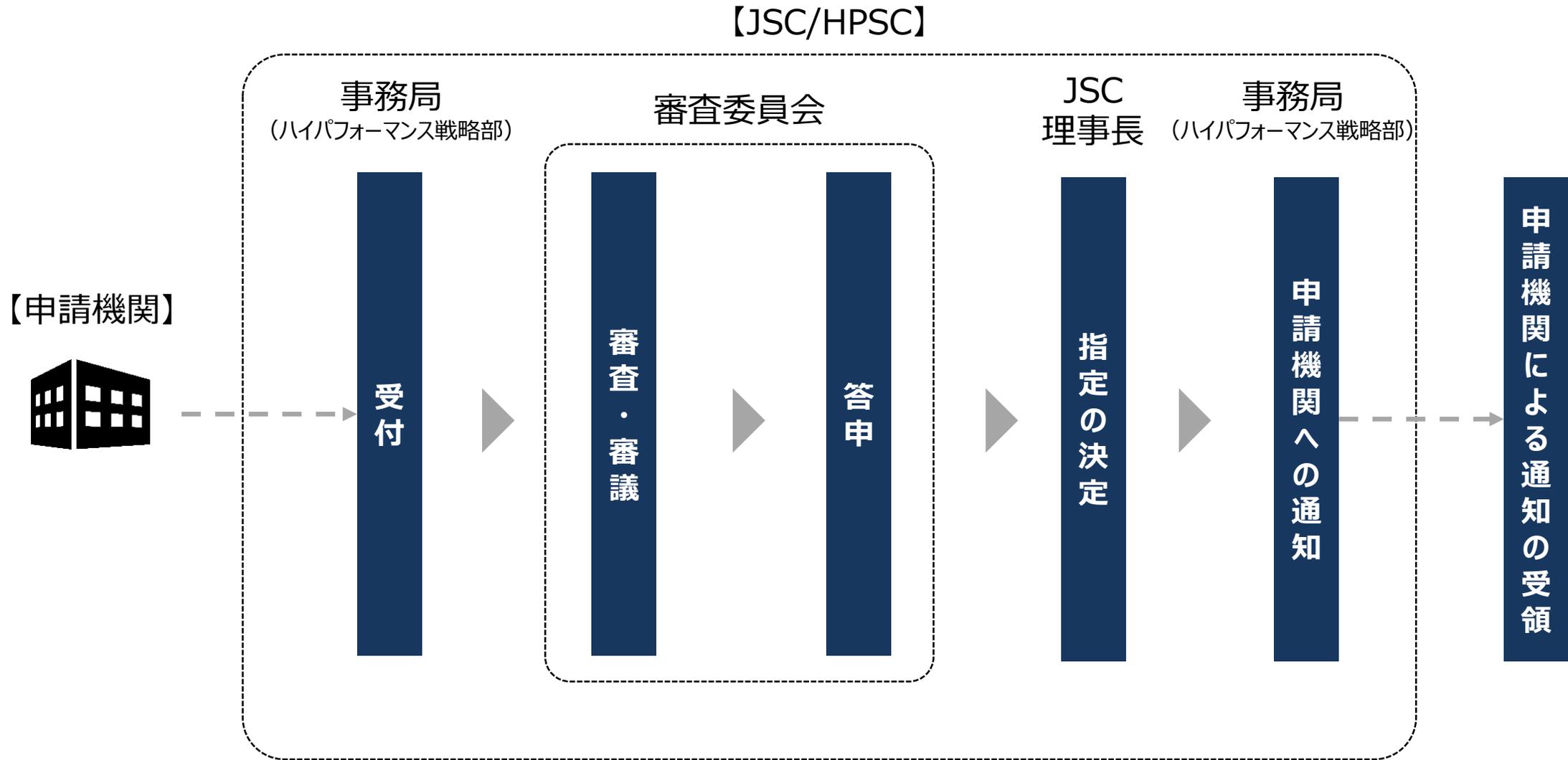
個人情報の取扱いに係る遵守事項に誓約をしていただきます。内容を十分にご確認の上、ご記載・ご提出をお願いします。

- 誓約書

暴力団等に該当しない旨の誓約をしていただきます。  
※地方公共団体、独立行政法人及び国立大学法人は提出ご不要です。

提出期限：令和3年9月17日（金）17時00分まで

# 連携機関（体力測定） 指定までの手続き



\* 本頁はあくまで概要を説明するものですので、正確な内容は「HPSCネットワーク連携機関指定要項（別紙一式を含む。）」をご確認ください。

## 連携機関（体力測定）の指定により付与される機会

- 「High Performance Sport Center Network」 Web サイトにおける**連携機関データベースへの登録申請**
- JSC又は競技団体からの依頼に基づく**ハイパフォーマンス・アスリートに対する体力測定、講習会等のスポーツ科学・医学・情報サポートに係る活動の機会**
- JSC（HPSC）との**共同研究又は人事交流に係る協議又は申込の機会**
- その他HPSCネットワークの目的達成のためJSCが別に認める機会等

## 指定の有効期間

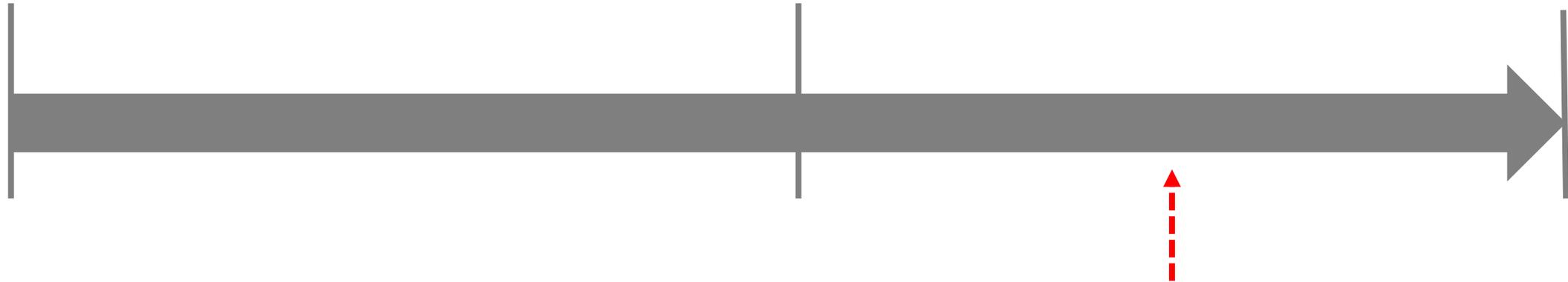
JSC理事長から指定を受けた日から同日の属する年の翌々年の3月31日まで。

例：本年9月30日に指定を受けた場合

令和3年（2021年）9月30日

令和4年（2022年）3月31日

令和5年（2023年）3月31日



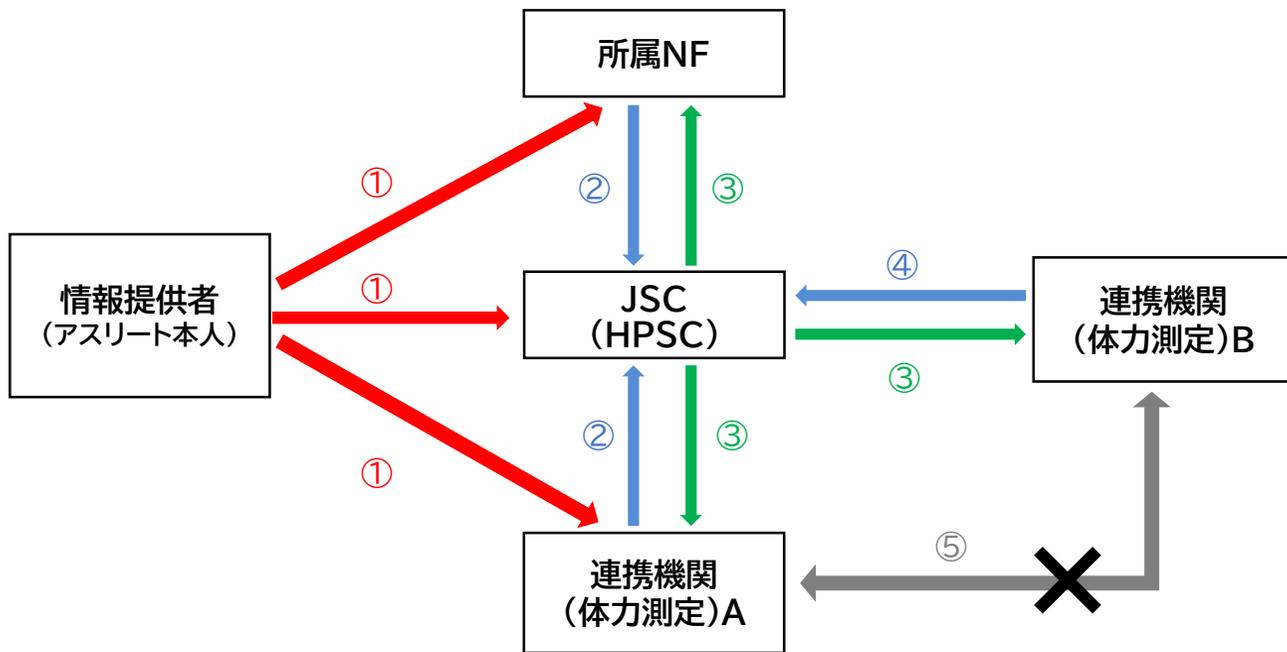
連携機関としての指定の延長に際しては、所定の時期に連携機関によるHPSCネットワークに係る活動実績及び活動計画を確認させていただく予定です。

## 連携機関への協力依頼

- 連携機関指定要項を遵守し、**HPSCネットワークの目的を達成するためにJSCが実施する事業**へのご協力
- 連携機関が実施する**HPSC機能の地域展開に係る諸活動の実施状況**及びそれに伴う**成果に関するJSCへのご報告**
- JSCによる**調査（ヒアリング、現場確認等）**へのご協力
- その他連携機関の種類ごとにJSCが別に依頼すること

# 地域におけるHPSCと一貫した体力測定の実施に係る測定データ等の取扱いについて

【測定データ等の取扱いに関するイメージ】



この枠組みを適法・適切に達成するため...

- 申請機関様にはHPSCネットワーク連携機関（体力測定）指定申請書別紙の誓約事項に誓約していただく必要があります。
- アスリート本人より、JSCが別途定める個人情報の取扱いに関する同意書にて同意を取得していることが前提になります。

- JSC（HPSC）、連携機関（体力測定）又は所属NFは、所定の項目の体力測定を実施することにより、アスリート本人より測定データ等を取得します。（左記図の①）
- 所属NF又は連携機関（体力測定）は、上記で取得した測定データ等をJSCに提供し、測定データ等はJSCにおいて一元管理されます。（左記図の②）
- JSCは、利用目的の達成に必要な範囲内で、所属NF又は連携機関（体力測定）に対して測定データ等を提供する場合があります。（左記図の③）なお、所属NF又は連携機関（体力測定）がJSCから提供を受けた測定データ等を分析・処理・加工して得られた測定データ等も、JSCに提供され、JSCにおいて一元管理される場合があります。（左記図の②及び④）

## 留意事項

- ✓ JSCが測定データ等を提供する先には、所属NF、アスリート本人に対する体力測定を直接実施した連携機関（体力測定）（＝連携機関A）及びその他の連携機関（体力測定）（＝連携機関B）が含まれます。JSCは、これらに測定データ等を提供する場合には、その必要性、利用目的、利用範囲、利用場面等を予め厳格に審査・確認し、その結果によっては測定データ等の提供を拒絶する場合があります。
- ✓ 審査・確認の過程でJSCが必要かつ適切と判断した場合には、予めアスリート本人の個別の同意を得ます。

- JSCは、JSCを介することなく、ある連携機関（体力測定）から別の連携機関（体力測定）にアスリート本人の測定データを提供することは認めていません。（左記図の⑤）
- JSC（HPSC）、連携機関（体力測定）又は所属NFは利用目的の達成に必要な範囲内で測定データを利用します。

# 地域におけるHPSCと一貫した体力測定の実施に係る測定データ等の利用目的について

- ① 情報提供者（アスリート本人）に関する競技力の現状把握、トレーニング効果の評価及びパフォーマンス予測を目的に、JSC又は連携機関運営法人等が取得した情報提供者（アスリート本人）に関する個人情報进行分析・処理・加工し、情報提供者（アスリート本人）に対して適時に提供するとともに、JSC又は連携機関運営法人等が情報提供者（アスリート本人）に対して必要な支援を遅滞なく提供するため
- ② 所属NF又は当該所属NFからの依頼に基づくJSC若しくは連携機関（体力測定）により、情報提供者（アスリート本人）以外のアスリート等に対してスポーツ科学・医学・情報に関する支援（講習会、体力測定、トレーニング指導、栄養サポート、リハビリテーション等）を実施するため（※）
- ③ 統計データを作成・利活用・公表するため（※）
- ④ スポーツ医・科学分野の学問的発展に向けたスポーツ科学・医学・情報に関する研究を実施するため（※）
- ⑤ 上記の各目的を達成するためにJSCと連携機関運営法人等との間で個人情報を相互に提供するため

（※）上記②～④項についての利用は、原則として特定の情報提供者（アスリート本人）を識別できない形で行い、特定の情報提供者（アスリート本人）を識別できる形でこれらを行うときは、事前に同意をいただきます。

今後、アスリート本人より上記の利用目的で測定データ等を取り扱うことについて同意を得ていきます。  
→連携機関（体力測定）指定申請書別添に記載の利用目的と同一です。

## 留意事項

次のいずれかに該当する場合には**指定を取り消す**場合がありますので、ご注意ください。

- 連携機関が連携機関指定要件に定める要件・基準に合致しなくなったとき
- 連携機関によるHPSCネットワークに係る活動実績が少なく我が国の国際競技力向上への寄与又はスポーツ科学・医学・情報分野等の人材育成機能の強化への効果が得られないなど、JSCが指定を解除することが適当と判断したとき
- 連携機関によりHPSCネットワークの名誉を傷つける行為があったとき
- 連携機関の指定を受けるに当たり遵守すべき諸規定等に違反し、催告期間を定めた後においてもなお改善されないとき
- HPSCネットワークの運営に当たって重大な支障が生じると認められたとき